

オブジェクト・クロスロード

TeamOCR

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

2010年1月に始まったオブジェクトショーと、その合間に始まった別のオブジェクトショー。

この2つがもし同じ星の、レイヤーで隔たれた近い場所で行われていたら。

他のオブジェクトショーも同じ星の別のレイヤーで行われていた

ら。
レイヤーを繋ぐのは・・・？

目次

前日譚

前日譚1：私のきっかけは、いつだってルビーにある。	1
前日譚2：事故に遭った少年の話。	3
前日譚3：キメラオブジェクト・・・？	5
4月～April～	
4月#日、気まぐれで始まった。	7
Welcome, Object Central!	9
一般枠組み分けの様子	11
Acid cheat limbs moving that	13
hen	
5月～May～	
ゴールデンウィーク？よし、動画を作ろう。	15
逃走中作っちゃう？舞台説明編	17
人の姿になる魔法	19
逃走中作っちゃう？(NSO4ドラマ1)	21
6月～June～	
2人で作る、Aviutl講座	23
国外線で検査体験(でも裏側のみ)	25
雨の日の雑談	27
カートゥーンフード(お知らせアリ)	29

前日譚

前日譚 1・私のきつかけは、いつだってルビーにある。

遠い過去のような未来のような、みんなとは別次元のような時間軸、そこでは人でない物が人のように生活しています。植物を育てたり、山に登って景色を眺めたり、ペットを飼ったり、それから、学校に通ったり。私アメステイは通う学校をどっちにしようかまよっていたけど、この話は、私がオブジェクトセントラルに入るきつかけになった話。

私は元々英語圏生まれの住人だったけど、片親が日本語圏だったから日本語圏にあつて寮も完備のオブジェクトセントラルに推薦可能だったの。でももう片方の親はそれを許そうとしなくて、私をGem Schoolに入れようとしたの。そんな時、私を気にしていたルビーさんが私の事を思って家に電話をくれたのよ。でもすぐに切れたから親の居ない間に電話をかけかえして、何か有力な情報がないか聞いてみた。もちろんこの時はまだ英語圏だったから英語でね。「Ruby, Object Central Gem School are in the recommended area, but I think if I could possibly have a school with you I thought it would be nice to call and I'm calling. Did you go to Ge... (ルビーさん、オブジェクトセントラルとGem Schoolが推薦可能領域に入っているけど、私はできれば貴方と一緒にの学校がいいと思って電話してるの。ルビーさんはGem Schoolに通...)」「I didn't go to Gem School!」「Uh... okay. (あ...うん。)」結構有力な情報を手に入れた。ルビーさん、Gem Schoolに通ってなかったみたい。私の相談相手のローレンさんはオブジェクトセントラルを卒業しているから、やっぱり私に似合うのはそっちみたい。

そして入寮当日。「……寮だな。うん、そこしかありえない。ローレンが卒業するまでBOTO寮と呼ばれていた所だし、本人の素質的にもそこが一番だからな。」私が入る事になったその寮は店のような形をしていて、雪玉のようなホストがもう待っていたの。「ふごご……（確かにここだったよ、ローレンがいたのは。君の部屋はかつてローレンが入っていた所だから、鍵を受け取って。）」受け取った鍵は持ち手がスカーフの形をしていたの。もしかしなくてもこれはローレンさんね。「ローレンさん、わざわざ鍵を作り直したのね。」「ふごご……（ああ、そうだよ。扉の鍵が錆びてしまったから、部活の一環として作り直してくれたんだ。）」「私もその部活に入ってみようかしら。ありがと、雪玉さん……じゃなくてスノードーさん」スノードーさんはこくりと頷いたわ。

前日譚2：事故に遭った少年の話。

よつ、ストローだ。今ヴェータの中から発信しているが、何でもこの世界には擬人化度を変える道具があるらしい。何でそんなものを学園で作ったかっていうとそうしないと現実世界の人から見えなくなってしまうから、というのが一番だが見た目を変えて楽しむ事にも使われている。

- ① 人語理解：感情描写
- ② 感情表現：顔面パーツの獲得
- ③ 言葉の発信：一方のみか両方か
- ④ 動作：無機物・無生物なら自ら動作しているかどうか
- ⑤ 人間パーツの獲得：手足などの四肢パーツ、四足歩行動物が原型なら二足歩行化しているかなど
- ⑥ 衣装・装飾：着衣、アクセサリーなどの装飾品
- ⑦ 人間化：耳や尾などの原型パーツが残留していない

具体的にはこういう事だ。それを思えば俺が事故で足を無くしたのがどれだけ辛いことか、分かってくるはずだ。俺が入学するまではそんな事無かったんだが・・・。「もつと気の毒な事を言えば、この事故が原因でSRS（生徒用リカバリーシステム）にも足がない状態で登録されてしまったのよね。」シャーベットお前・・・そうだな。この学園にはリカバリーシステムが生徒用と先生用で別々に存在するが、寮に入ってからリカバリーシステムに登録するまでの間に事故が起こってしまった。後はシャーベットの言った通りだ。「リカバリーで記憶がリセットされる事はないし、後で登録し直す事もできるから、足が戻ったら登録し直そうね！」あー・・・そうだな。

そう言えばシャーベットの事言ってなかったな。あいつの両親はシャーベットキューブとダイス・・・いわゆるサイコロだ。溶けたり割れたりしてちよつとアレな体質だが、頭の賽の目は賽の目だけでなく矢印も出せるようになったんだ。一応俺やヴェータとは同年度とあった所か。性別・・・多分女だと思うけどな・・・寮は・・・寮はどこだ？「・・・だよ。」ああ、そうか。言われてみればそこだったな。

ちなみに、4つの寮それぞれにちよつとした日課がある。FL寮は植物を育てる事、大きい物だと寮の壁を覆う程なんだ。優しさと葉っぱを冠した寮だけあって植物に力を入れている。アメステイのいる寮は食いしん坊？のホストのために料理を作る事、おかげでその寮の人達のほとんどは料理が上手いそうだ。もちろんホスト以外の住人の食事もその寮の住人による自作。腕が無い奴でも料理を作れるというから俺は驚いている。EC寮は寮のホールに集まる事、但しその先は作戦会議や動画撮影などさまざまだ。流石何かを楽しんでいる寮で、俺達OJはセキュリティチェック。能力事故のカバーのためには他の寮の人達・・・とこの寮の赤青アシスタントはその間この寮を掃除させられる事もある。

「それと、今ストローがヴェータって呼んでた僕は本当はヴェウタだけど、多分言いづらいからヴェータでも構わない。」とりあえず、このカメラは次の人に回そうか。じゃあな。

前日譚3：キメラオブジェクト・・・？

「この世界では現実ではありえないキメラオブジェクトが存在する。両親の性質を持った新たなオブジェクトだ。混血で嫌われる事が多いため、我が学園『オブジェクト・セントラル』はそんなキメラオブジェクト達も保護する事にした。提案：BFDI寮ホスト・・・」この一文はかつてFL寮でホストをしていた者が設立当初からその寮にかけていた物であり、実は主人公もそのキメラオブジェクトに当てはまる。さて、時は学園設立の少し前に遡る・・・。

当時β版だったObjectTubeを眺めていた後のBOTOL寮初代ホストDough(♂)はObjectTubeを紹介して見た動画に目を引かれ、『こんな学校建ててみたい』と思っていました。そこで彼は掲示板に『魔法学校っぽい学園を建てたい』というスレを建て、元ネタにあやかって3名ほど募集をかけました。「動画でみた創設者4人の魔法学校が忘れられないからこの世界にも建てたいんだ。」

「面白そうな企画だね！暇でしようがなかったんだ」と真っ先に参加レスをしたのは後のEE寮初代ホストKite(♂)。次に参加レスをしたのは後のBFDI寮初代ホストSolt(♀)で、「キメラオブジェクトを保護する学園にしよう！」と宣誓をしていました。そして最後の参加レスは後のII寮ホストFries(♂)、「3人募集って寂しくない？でも予言に引き寄せられたからやるだけやってみようかな」とレスをしていました。実は彼、珍しく超能力の持ち主であり自身の予言によってこのスレに引き寄せられたとのこと。

「とりあえず、1つの寮に能力者と異常者を集める。こうすれば他の寮に迷惑かかることもないからさ。」「その案いいね！私はやっぱり優しい者を集めていいことをする寮かな？」「君は悪戯好きを集めようだから、僕は真面目だったり頭良かったりな者を集めるよ」「てことは残りの悪戯好きと単なる興味本位が俺の所か・・・？」設立当初から4人の選別には個性があり、『BFDI寮は優しさ、IIは能力者と異常者、BOTOL寮は知力、EEは楽しさで選別』していました。こ

れは後に組み分け帽子としてハッター先生がするようになってからも同様です。それから時が経ち寮が勝者の名前を冠するようになった頃、初代ホスト4人には子どもができていました。DoughはSnowBall(♀)との間に、FriesはCheesy(♀)との間に(しかも双子です)、SoltはGlassy(♂)との間に、KiteはPainting(♀)との間に。お分かりですか?彼らが後の現ホストとなる、SnowDough達です。さて、そろそろ本編を始めましょう。

4月(April)

4月#日、気まぐれで始まった。

それは、1つの気まぐれから始まった。ある日、僕の部屋の机に降ってきた1枚の封筒、それは「オブジェクトセントラル学園」の気まぐれ推薦に当選した、というメールだった。クロスシティにも学校はあったけど、それよりももっと大きくて、何よりも封筒に同梱したパスカード(兼生徒証)が無いと入れない特別な場所。ただし寮に關してはしつかり完備しているから親にその事を伝えた上で4月#日に来る専用の電車に乗って学園に来て欲しい、と書いてあった。「気まぐれ推薦・・・不思議な事も有るんだな。まあこれで手間は省けたからいいけど」「オブジェクトセントラル学園・・・これだけ大きければ魔法も科学も学べるのかしら。いいですよ。」オツケー、確かに伝えたから封筒とパスカードを中に入れた。

そして4月#日。『まずは最寄りの生徒証接続可能駅に向かえ。君の場合はクロスシティ駅だ。』クロスシティ駅は歩いて行ける距離にあった。『以降はクロスシティ駅から乗る方法。改札外の階段の1階側の裏にカードをかざしてくれ。』カードを探すのに少々時間がかかったけど、それっぽい所にかざした。『そうすれば扉が開くから降りてやってきた電車で学校に向かうんだ。いいね?』電車はすぐに来てくれた。

電車が学園に着くと、先客なのか高さ以外フォート(・・・あれ、読者はフォート知らないんだっけ。うーん・・・分かりやすく言うと火の玉かな?)にそっくりな子がまるで見計らったように話しかけてきた。「気まぐれ推薦の当選者・・・誰?」「誰って言われてもね・・・そっちこそフォートに似てるけどフォートじゃないんだよね?」「僕はフォォーテル。フォートは僕の父さんだよ。強い推薦でここが一番いいって言われたから。」「へえ、フォォーテルはフォートの強い推薦で。デイクスだよ、よろしく。」「デイクスよろしく、今日は推薦組の入寮日だから組み分け帽子に寮を決めてもらうんだ。」「寮って、男女混同

？」「そうだね。寮は4つあって、FiR∴Leafty略してFR∴FL?どつちか分かんない頭文字F、OJ、ExciteCracker略してECと∴ああっどうしよう!?寮の名前忘れた!」「忘れてたって、一体何があったんだか。」「ごめんごめん。それはともかくかつてはそれぞれBFDI、II、BOTO、EE寮と呼ばれていたけど、いつからか勝者の名前を冠するようになったみたいなんだ。」

フォーテルがデイクスに説明していた頃、ホールには(シルクハットのような)組み分け帽子とコーヒーカップとプレゼント箱、ストローと三角フラスコがいました。「部屋の装飾もあらかた終わつたね。ところでストロー、今日のヴェータには何が入ってるのかしら。」「あー、そう言われればそうだな。確かに何か入ってる。しかし、それが何なのか分からん。ストローが入って平気な液体なんだよな?」コーヒーカップとプレゼント箱が話していた所に、ストローが答えを返します。「ああ、今日はシャンパンを入れてきたそうだ。ここにいる前に本人から聞いた。それとナレーターに告ぐ、ここにいる生徒はヒーとプレゼントと俺とヴェウタだ。組み分け帽子、ていうかハッターは生徒じゃないからな。」「∴∴さつき俺の事ヴェータって言うてるやつがいたが、俺は別にそれでかまわないからな?」

Welcome, Object Central!

ホールのドアに二人がやってきました。「ほら、ここが組み分けの会場。にしてもまだ準備中？そろそろ開場時間のはずだけど・・・」フォートに推薦してもらったフォートルが話すと、ドアの反対側から声が聞こえてきました。どうやら二重ドアだったようです。「もう来てるよ！あけていい!」「アメステイ！飾りたった今出来たからもうちよつと待つて！」ドアが開くのを待つ二人の後ろに他の推薦組が数人並んできました。エアーホーンも推薦で入ったようです。「今日は想像以上に少ないわね、普段は教師と二年以上で学園紹介動画を撮っているけど、今年の学園紹介動画は二人くらいここから追加しようかしら」中にいた全員が配置についた所で、ベルが鳴り響きます。「準備オツケーね、開けるよ！」ボタン、とアメステイは勢いよくドアを開けました。「推薦組のみなさん、ようこそ、オブジェクトセントラルへ！」

「まずは一人ずつ、地図と資料をお渡しします。オブジェクトセントラルは意外と広いんですよ？」最初はプレゼントから降りたコーヒーが全員に地図を配ります。デイクスは地図を受け取るとすぐに自分の中に入れました。「図のスキヤン能力でもあるの?」「まあね。ぼくの数十%はオーバーテクノロジーさ。」地図配りが終わると、ストローが言い始めました。「次は組み分けだよ。ハッター君がどこに入るか診断してくれるんだって!」「こら、君じゃなくて先生!」「ごめんごめん、起こしちゃったね。」「まあ起こさないといけなかったからそれでいいけど。」「あのストロー、容器に密着しているはずなのに喋ってるわ!」「寮が決まったらそこに行ってもらおうよ。まずは・・・その本とフォートの息子さんから!」「あいつら真つ先に呼ばれたな、ハッターはどの寮を選ぶんだろうか。」

「君たち、名前は?」「フォートル」「デイクスだよ」「オツケー、被つて」そう言われて先に被ったフォートル。「想像以上に熱いな」「ハッター先生、これでも手加減してますよ」「うーん、OJかな・・・デイクス被って」「先生、了解です」「・・・なるほど、オーバーテクノロジー

ジーは伊達じゃないな・・・フォーテル、デイクス、二人ともOJだ！」「OJ寮か。一緒の寮だな！それじゃ、寮に向かって！」「わーい！」

「えっと・・・ここで合ってるね。」OJ寮まで案内したデイクス。「できればもうちよつと綺麗に描いて欲しかった、デイクスもそう思う？」「あ、うん、道路は大丈夫だけど、建物のデザインが。」「ああ、ようこそOJ寮へ。ホストのOrangeFriesだよ。この寮は声紋認証を採用しているから、君たちの声を登録しないといけないんだ。さ、名前と声を入れて。」こうして、この学園での寮生活が始まったのです。

一般枠組み分けの様子

こんにちは、EC寮のカメラマンことニトロです。（小説じゃ分からないと思うけど）声が出ない体質なのでMY端末で字幕を送っています。そして今から一般枠の組み分けが始まりますが、1つ推薦枠と違ってスタツフは同年度の推薦入学者になります。私もその一人です。

それではここにいらつしやる本年度推薦者の紹介です、まずはOJ寮。「今回の一般枠、溶ける生徒でもいるのかなあ」フォーテルさんは燃えない炎ですが、物理的に触れると危ない物が多いのでハッター先生を起こす係です。「・・・ん？この地図何か書き加えられてる」地図は気まぐれ推薦者ことデイクスが中にしまっています。隠し部屋が完成したので地図も更新しましたが、デイクス以外の推薦枠にはまだ場所を教えていません。（デイクスは能力的に教えなくても知ってしまうのであえてあのような表現をしています）次はEC寮、私は言うまでもないから飛ばして、エアーホーンは演出係兼ドア開けです。おそらく彼の両親はMLGを知っている方でしょうね・・・「ドアの真ん前に何かいて開けらんねー！おいお前、離れないとこのドア蹴飛ばすぞ」あ、ドアは蹴つちやだめ！「おい、まじかよ」彼の頭を押すと元ネタ同様あの音が鳴るの、しかも自ら押すこともできる、これがたまらない！・・・飾り？ああ、それは推薦枠組み分けの時の使い回しね。先輩達を取り外すの忘れてたから付け直してもいない。

ベルの代わりにエアーホーン演出でドアが開いたら、一般枠の入場です。青マフラーの赤いフルートと赤い熱湯銃、水色の懐中電灯、手足が緑のマルチタツプ、ロールケーキにキットカットまでいる！フォーテルが地図配りじゃなくて良かったりして。ん、あのペンは何？ただならぬオーラを感じる！もし怪物が擬態した姿だったらどうしよう・・・

「えーっと、まずは地図を・・・この学園の広さは明らかに僕の想像以上に広いからね・・・」え、もしかして緊張してる？「あつフォーテル、次組み分けだから先生起こしといて」「はーい・・・」寝ぼけて

る？」「起す係が寝ぼけてどうする」「す、すみません先生」そしてさっきのペンが不安がつてる！（俺は能力者に駆逐されるのが嫌だ！）とばかりに！まあここは争い厳禁ですけどね？」「じゃあその不安がつてるペンから、ちゃんとした名前も頼むよ。」最初の組み分け相手、わざわざ指名したのね。「・・・そうか？俺はペンナ、今のお前らには言えない秘密を隠してる。」先生を被ったら二重被りになっちゃったね。「・・・こいつはOJ寮に入れたらあかんな。本人も自覚あるっぽいから、成績的にもフォーテルが名前を忘れたあの寮だな。」

こんな感じでした。なお寮内では寮ごとの説明を受ける事になりますけど、それは寮ホストの動画にて。

Acid cheat limbs moving
t a t t h e n

夜に解けるペンナの擬態、それは彼が隠していた事。悪魔の血統である彼は本来この学園に来てはいけな存在だった。しかし悪魔化が不完全であったため入学規制をすり抜け、結果としてフォーテルが名前を忘れた寮になったのである。他の兄弟は悪魔の血統を忌み嫌っているが、そのような個体は完全な悪魔になると意志が無くなり本能だけで動く怪物になってしまうと伝えられている。

彼はそんな血統に誇りを持っていたが、生徒達にばれてはいけないと擬態魔法を使っている。しかしそれが夜に解けたとき、彼の姿は不完全な悪魔のそれになるのだ。それは彼も分かっていたのか、彼の日記にこういう記述があった。『俺は悪魔だが角のない系統だ。尻尾は有ったとしても悪魔のそれじゃない。その代わり、親が極度の廃人悪魔で高い個体値でない限り捨ててしまうんだ。幸い俺は捨てられなかった方だ、頼むから俺を夜に見ないでくれ』

『悪魔になった半身の関節は急激に筋肉が発達して本来よりも太くなってている。爪と脚はドラゴンのようになり、背中には翼、腕には棘のように鋭いひれが生える。翼も小さい今の身体ではバランスを崩しかねない、早く悪魔の姿を完全な物にしてバランスを戻さなければ、でも悪魔化が進行するのは夜しかない……。』『俺が高い成績を出したのも血統によるもの。まだ完全体じゃないから公的に採用されてないが、ミドルネームを入れたらP e n n a || G || L a z l oだ。ちなみに、俺の尊敬するリーク師はM e e t e r || A L || T r e e s t e rだ。』

日記には学園での出来事も。『この学園では魔法も授業の1科目。特に対デーモンの魔法では俺が実験台になる事もしばしば。ただ彼らが真実を知らずに使っている魔法中にはある。』『寮の日課になっている料理だが、夜はどうしてもあれのせいでうまく作れない。おまけに癖でブラインド使ったらその影のせいで皆が悲鳴を上げてしま

うんだ。ひどい時には魔法を喰らってしまふ。そういえば裏で悪魔の研究をしているという話もあったが、あれは本当か?』

『なあ、悪魔がやるもつとも典型的で、それでいて現状もつとも成功している人間への最大の攻撃って何か、わかるか?・・・悪魔なんて、霊なんていない。そう思わせることだ。』

ただこの世界に宗教概念はあるのかって言われたらそれは知らないけどな。だから大事なのは、霊の存在を否定することじゃない。いないから怖くない、じゃなくて、いるけど怖くない。悪魔に対する入学規制をなくしてほしい、それが俺の願いだ。』

5月〜May〜

ゴールデンウィーク？よし、動画を作ろう。

時は4月の終わり頃、「動画見よう」アメステイがメデイアルームでPCを広げました。「ObjectTubeは外の世界で言うところのYouTubeにあたるサイトで、ローレンはここでも活躍しているの。隠しコマンドでYouTubeも見れるから、この世界では娯楽や競技の1つとして普及しているのよ。」ふと彼女が目を止めたのは、『スクリーンリンク型ループ・ゴールドバーグ・マシン』。「へえ、合作かあ・・・、うらやましいなあ・・・」と誰かがアメステイのどこかをやさしく叩きました。「合作くらい僕たちでもできるよ。ゴールデンウィークにでも作ったら?」「えっ、フオーテルいつの間に!?!」「授業の予定が無かったから自由行動としてここに来たんだ。それって、ピタゴラ装置?」「まあ、そうね。もし合作にタイトルを付けるなら『リンク・ゴールデンウィーク・コラボ』とか・・・言ってみただけよw」

そしてゴールデンウィーク。アメステイ、フオーテルだけでなく有志の生徒達もこのコラボに乗っかり、10分以上の大作に。つなぎ目も先発の生徒の指定になっているため、ObjectTubeの視聴者は大喜び。それが何かというと、『アメステイがビリヤードの棒で8ボールをつついてスタート↓白いピンポン玉がレゴの上を通過して、そこからラケットによる顔面坂の似非ビルダーズチャレンジ↓ドミノで遠隔スイッチオン(扇風機の)↓平面を坂にして重い玉を落とし、風船を下ろす↓ビルダーズチャレンジに影響を受け、PC画面の中へ↓FR寮のオートドミノ↓白いピンポン玉を落とすが、間違いだと動画を乱入させ色を変える↓OJ寮の異常ビルダーズチャレンジ(熱湯銃、空中浮遊と時間停止、液体輸送、瞬間移動)↓ターデイスの演出が映り、(時間を遡って)PC画面の外でPCを置く↓最後はデイクスがボールを受け取ってフィニッシュ』とバラエティ豊かな仕上がりに。

更に数日後：．．。「ねえ聞いて！パステル社が〇〇中への乱入募集をしているよ！」「パステル社？〇〇中はクロノス社だけの物だと思ってたけど．．．」「甘月の作品は世界観を共有しているから、ターデイス使えばいくらだって乱入し放題だよ！」噂をすれば、そのターデイス。「ごめん、いくら何でもそれはちよつと．．．。」「そっか、授業を妨害しちゃまずいね。」「でも、パステル社も時間移動装置を持ってるから私なしでもいけますよ?」「えっ!? そうなの!? じゃあ行っちゃおうかな!」こうして、オブジェクト・セントラルの生徒たちもパステル社の乱入企画に参加することになったとさ．．．。

逃走中作っちゃおう？・舞台説明編

「これで僕は正式にパステルユニバースのメンバーに加入したけど、逃走中のドラマ作りたくないなあ・・・。」フォーテルがパステル密告中01の収録を終えて早数日。一時の時軸連動も終えた彼は、この興奮を広めたいと考えていました。しかし学校はあいにく授業中、広めるのは難しいものです。まずは、ここの説明が必要ですね。

* 駅 *

電車が駅に着くと、下りた乗客は学園の本校舎を目にします。線上に階段やスロープがあるといっても、食堂にエレベーターがあるためそれで済ませる人もいる模様。食堂は駅からみると左の方です。

* ホール *

本校舎の中心にある円の中の立方体。組み分けやコンサート、送別会に入学式と卒業式、色々な事の会場になる。逃走中でスタート地点になるのも大体ここ。

* 4つの寮 *

寮は生徒専用なので逃走者はいれない。ドラマで使う事は可能。FR、OJ、ECと店のような見た目の寮の4つの寮全てに適用される。

* 隠し部屋 *

更新した地図にしか載っていないため能力で認知したデイクスと一般枠の新生生のみが知る部屋。デイクスはお得意の読み飛ばしで注意を無視したため、黙秘or未認知状態の新生生に代わり逃走者に場所を教える事が可能。なおGMにはあらかじめ更新した地図を配っておくこと。

* 食堂 *

生徒が合同で食べられる場所。とある寮の生徒の日課のために調理を自力でする事も可能。ここにエレベーターがあるのはバリアフリー的な意味がある。階段恐怖症、スロープ恐怖症のためとも。

* 教室共通事項 *

教室全てに清掃用具の入ったロッカーがある。また、雨水リサイクル

ル機能付きの傘立ても全教室に置いてある。傘以外の生徒一人一人の持ち物は自分の近くに置くのがルール。また、教室内での魔法は魔法科用教室を除いて使用禁止。

*** 普通科用教室 ***

普通に机が置いてあるだけの教室。

*** 情報科用教室 ***

傘立て以外の場所の床が上がっている。ここのテーブルはPCを繋げるためのコンセントとネットワーク用コネクタを完備。

*** 魔法科用教室 ***

棚には魔法関係の道具がいっぱい。一応こつくりさんも可能だが、霊ごとリカバリーした事例もちらほら。

*** リカバリールーム ***

リカバリースステムの装置が置いてある。現在一番登録のために通っているのはデイクス（中のデータのため）とニトロ（端末のため）らしい。リカバリーすると登録した所持品は消滅する。

*** 実験ルーム ***

科学と非科学の実験ルームがドア一枚を隔てて並んでいる。第一理由として科学で生み出した生物を魔法で潰したり、非科学生物の科学耐性をチェックするためなんだとか。

*** 図書室 ***

本を読めるし、コピー機を使えるし、DVDも見れる。学校史の表紙に『実物です。切り取りたい人、破りたい人はコピーにやりましょう。』と書いてあるのはもはやお約束。

「結構多いもんだな。ドラマに使う場所を絞り込まないと。」はたして、誰が登場するんでしょうか。それはまた、別のお話。

人の姿になる魔法

「気をつけ、礼！」魔法の授業を担当する教師の一人、ワンダー。「着席！」その見た目はGバスターズの銃の部分で、Gバスターズが杖でもないのにワンドと呼んでいた事から来ている。「というわけで1年目の皆には早すぎるかもしれないけど、今日は人型になる魔法よ。」そう言ってワンダー先生はいつも通り授業を始めた。

この世界には擬人化度を変える道具があるが、それは魔法も例外ではない。この人型になる魔法や逆に顔と手足を見えなくする魔法がそれに入る・・・とは言っても。「ヴェータ、魔法開発も進んでるんだな。」「そうだな、親友。」そう、この2つの魔法は最近開発されたばかりであり、試験運用段階だったのである。

「・・・デイクス、4月は基礎魔法だったのにどうして試験運用段階の魔法を中級魔法よりも前に出すんだろう。それにこの魔法の開発源の魔法もまだだし」「そういう事はストローに言った方がいいよ。それにこれは無言魔法と言って呪文を言う必要が無いからね」「ああ、そうか」

使い手によって演出を変えるこの魔法、どうやらデイクス達OJ寮が使うと某次元ワザの様に枠が現れてくるくると変化する。ペーナは血統の事もあつて原型を留めているとはいえ、擬態を解いていてかつ悪魔化が原型以上に進行したような・・・角と尻尾と蛇腹が増えたような姿に。

シャーベットとストローも調子に乗って魔法を使う。しかし、人の姿でもシャーベットの腕が無い(※「一応その気になれば腕を出せる」とは本人談)のとストローの足が無い代わりに何かの跡があったのはそのままだった。「こんな事いって言いのか分からないけどストロー、消す魔法でその跡が無くなればいいんだけどね・・・。」「・・・わかる。」シャーベットにも言える事とはいえ食べ物勢は人の姿になると食べ物では無くなっていった。「食べられる事は低くなったけど、非常食になれない所が残念で仕方ないよ。」

ちなみに真っ先にこの魔法をキャッチしたのはワンダー先生が顧

問の魔法開発部であり、ワンダー先生のご好意で授業に採用されるに至った、という訳である。この学園には魔法開発部以外にも様々な部があり、集まりたい時に集まる部もあれば試合などの決められたら時間で集まる部もあるといった感じになっている。

・・・次に話すとしたらこの部に関する話になるだろう。それかUnder Taleをこの生徒達で再現したらどうなるか、それはまだ分からない。その時は誰が何部かも書く事になるだろう。別の魔法は別の話で。

逃走中作っちゃおう？ (NS04ドラマ1)

【開始前】

くオブジェクト・セントラルく

「えつと今日は・・・まだ7月か。」彼らが作った逃走中ドラマの舞台時系列は彼らがこの世界でキーストーンとそのデバイスを手した少し後・・・言っておくとまだマスタービルドの魔法を覚える前・・・強いて言えばフォーテル達の入学1年目の7月中旬。逃走中には乱入したが夏休みはまだ始まってない、そんな時である。「今日は逃走中の舞台になる日なんだよな。」「授業の時間割』を確かめたフォーテルは急いで授業で使う教科書と道具を揃え、デイクスを起こす。デイクスは教科書も道具も全部自身の中に入っているため、揃える必要がないといってもいい。

く克蘭星のパステル社く

時はNS01のデータがなかった事にされた少し後に遡る。逃走中の時間と舞台の時間がずれる事が多いが、そもそもバラバラの時間軸から逃走者を連れてきているため何の問題もなかった。「当日の逃走スケジュール、建ててみたよ。」最初はホール・・・中で開始。授業時間との兼ね合いで9:35く9:40の5分で開始宣言を行い、9:40く10:30で50分。生徒の移動20分、ここはハンターを止めて逃走時間に加算しない。10:50く11:40の50分、この間に外に出すミッションをやつて、逃走者を外へ。食堂目当てで外へ出た生徒たちが中に戻る頃合いを見計らつて再開し、13:20く14:10の50分を分割して逃走と復活ゲーム。14:30く15:20でフィニッシュ、という流れ。「・・・でもこれ、パステル社単独のゲームにしては重くないですか?」「・・・それが、カナヘビ社の方から『時喰いに食べられる前に仲のいいライバルを演じたいから共同開催してくれ』って言われて・・・」「それって、合作?面白そうね。でも時喰いつて?」「タイムパラドックスとは違う、新たな脅威ね・・・。」

【開始直後】

「なるほど、そっちも考えてきたのね」ゲームが始まったのを見たパステル社は、NSO1のデータがクロノスとカナヘビには存在しない事をメールで察していた。「私の予測にすぎないけど、カナヘビはNOPステルのNSO1で閣下が勝った時間軸を見ていた時に時喰いが現れて、何かが無かった事にされたから時喰いが現れた事を考えるとNSO1が無かった事にされた事で多くの時間軸で現れるようになった、という感じかなと。クロノスにはどう見えてるかな。」甘月は葉月に時喰いの事を説明してあげると、逃走中を眺め始めた。

6月〜June〜 2人で作る、Aviutil講座

6月、ObjectTubeのとある動画のコメント欄で言い争いが起こりました。『Aviutilの使い方を教えろ』という内容で、もちろんこれは動画の内容とは全く関係ありません。・・・ん？

「まあまあ、君のPCはあれが使えないんだね。」

「ああ、そうだ」

「僕たちが作ったら見てくれる？」

「・・・分かった」

どうやら、デイクスが助けるそうですが・・・。

そんなデイクスの元に現れたのは明るい緑色のロリポップ・・・とマップピンが混ざった、アメステイと同じ寮のロリポップピンでした。「・・・デイクス、あのコメント一体どういう事？」「あ、ポップピンちゃうどいい所に！実はね、ごによごによ・・・」「おおっ、エースちゃんがObjectTubeでもAviutil講座を見れるようにとデイクス経由で指示したんだ！」「・・・まあ、大体合ってるね。一応彼女が言っていたけど録音いららないって。」

・・・エースが誰かは置いといて、デイクス達は早速撮影に取りかかりました。「・・・それにしてもさ、何で録音しなくていいんだ？」「どっかのニュースみたいに、台詞を加工するとかそういう事をしやすくする為かもね。」「何が台詞の加工だよ・・・余計何やらされるか分からないじゃん・・・」「Aviutil講座を作るって君がエースと呼んでいるお方は言ってたよ」「講座？・・・まあ、講座なら許すけどさ・・・。」「けどさ・・・って？」「Aviutilってこの世界からD.L.できるんだらうか。君の名前の並び違いの物体の中に収録されている、なら分かるんだ。」

撮影が終わると、そこにはまた別の生徒。最初に目に入ったのは三角と球のフラスコ、よく見ると球のフラスコは電球ボトルのようです。「やあ、デイクスそこにいたんだ。今俺がレッドブルを持ってき

てやった」「あ、ありがとうヴェータ!」「ポツピンの分もあるよー!」「
「ありがとう、気が利くねライトボトル!」「ライトボトル・・・まさ
か、あの電球ボトルが・・・何か割れそう・・・ちやんとリカバリ
システム登録してるよね?」「してるよ!」その次に現れたのは林檎と
アプリコットが混ざったジュース。「あ、アップルコット!」「一体何
してたの」「さ、撮影の任務だよ、なんかの講座の。音は撮ってないん
だ。」「なかなか回りくどい撮影ね・・・台詞は字幕で出すという事は
今で理解できるけど。」

そしてその翌日。二人の予想通り動画はObjectTubeで
も見れるようになっていました。

国外線で検査体験（でも裏側のみ）

この世界にも空港はあります。国内外共にあり、国外線は例の関ももちろんあります。今日はオブジェクト・セントラルの課外授業でこの生徒達が旅行者のためにとある検査の体験をする事になりました。「ボーラー、僕は別室担当になったんだ」ポルターハットのボーラーと・・・一緒に頑張ろうね、BeilMO!」BMOを模したBeilMOも、一緒に体験します。「ちなみに今日はOB Sの撮影班も来ているから、慎重に頑張つてね!」「はい!」・・・残念ながら本編をここでお見せする事はできないんです。これは大人の事情です。

「・・・ふう。」「リドルノートさん、お疲れ様です。」「ありがとう」休憩室のモブ関員とリドルノート。モブ関員はリドルノートを完璧に満足できませんが、満足させると存在ランクがモブから昇格して名前を手に入れます。そんな事もあってモブ関員は特定の姿をとれません。「・・・ナレーター、その情報どこで仕入れた」ああつ、ごめんなさいストローさん。

モブ関員が部屋を出ると、Object Tubeをはじめとする動画サイトをおもむろに開くリドルノート、どうやらOB Sの投稿状況チェックしているようです。「何度もローレンに先を越されはしたけど、タイトルサーチに引つかからない非公式の動画までは手が回らなかつて・・・もちろん公式が上がっているかもチェックしてですよ。」「・・・と引つかかったのは公式動画への誘導でした。」「・・・公式への誘導?このパターンは初めてです・・・。」「

食べ物申告しなかったがために没収されたり、ラベルが無いせいで別の物と間違われたり。そんなOB Sの収録が終わり撮影陣が帰る頃にはもう夕方でした。「・・・で、どうやって帰る?エアポート急行のある空港線はアルミ風船のせいで運転見合わせて情報をもろムメイトのデイクスがキャッチしたんだけど」「俺もまだ人を掴んで飛べないし」「いや、あるよ。モノレールに乗れば学園に帰れる。」「だがかかし、着く頃にはそっちから電車出てないと思うんだが」「そこで

毛糸で臨時編成を作れる僕の出番ってわけ、そのためだけに部活に潜入して時間の経過速度を変える魔法習ってたんだ」

そして、モノレールで帰る途中。「あの時魔法でチートしてたのがばれなくてよかったけど」「まねっこだからという理由で中止になったの思い出すからちよつと気にくわない言い方なんだよな」「でも、外はもう夜だね」「・・・そうだな」この後、生徒達は毛糸の臨時編成とはいえ無事寮に帰る事ができました。

雨の日の雑談

それは雨の日のこと。「・・・なあ、TV Tropesって知ってるか？」「ヨーヨーみたいな姿の男子生徒がフォートルにこう問いかけていました。まあ多分知らないで紹介しましょう、彼は陽介です。「お前らは分かんと思うけどな、あのままだと日本人に迷惑なんだ」しかし2人のいた部屋では。「ハッピーバースデーグリマース!!!」そう言いながらグリマスシェイクを飲んで気絶して話を聞こうとしない人が大勢いました。

また別の雨の日のこと。陽介が拾い物の絵を複数持ち込んできました。「・・・これは？」「裏に題名があるよ」「魔法を忘れた世界の予知」？シリーズ物みたいだけど」

その中には完全に人化したリコラス・・・あるいはポツピン含む数名が無生物の山の中から顔を出している絵、ターデイスで無理やりその世界に乗り込んだデイクスとフォートル含む数名の絵も含まれていました。

「ポツピンは化けられる姿が制限されるんじゃないかな。オブジェトリクスが使えたとしても、一部の姿は能力が疑似魔法に近いからそれも使えないって考えればね。」「ターデイス乗り込み組は無生物の山にいないと思いたいな・・・ほら、この色付きの疑似炎の中にフォートルと同じ色のがないし」「ん・・・ほんとだ。」

「ピクセルホテルとステッカーハウスの絵もあるよ!」「ピクセルホテルの宅配ロッカーみたいなのは無事みたい!人ではない従業員が無生物化していそうなりスクはありそうだけど大丈夫かな」「ステッカーハウスの方は無生物化しなかったジェローがマイバイクの燃料を入れてる裏で妹達が無生物化しているって所かな」

曰く付きの生徒であるペンナもステッカーハウスの絵と自分が描かれた絵を拝見。「俺とジェローは完全に人化してないな・・・俺の場合擬態が解けてるまでは想定内だが今の俺よりも”それ”らしくなってる。ジェローは・・・あの絵の妹達を見ると大きな何かがあっ

たぐらいしか分からないな」「それ”って何?」「今は教えられない。あの絵の予知が現実になつたらその時には教えてもいいが」

今度は空港での話。ちよつと無線を聞いてみましょう。「Arca
ea International Airport information F, 0330. ILS X 16L approach and Highway VSL RWY16R approach. LDG RWY 16L and 16R, DEPRWY 22 and 16R. Departure frequency 126.0. Laser caution at 1 mile from 16 end. Wind 170 degrees 15 knots. Visibility 25 kilometers, Broken height unknown. Temperature 25, dew point 08. QNH 29.76 inches. Advise you have information F.」ここは雨ではないようです。

「・・・それで、ATIS上に貴方の声を。」「そういうこと!」あのATISの声、原型はリドルノートさんでしたか。「でも、何でレーザ警告をATISに入れるんですか。無線でコンタクトできない宅配バイクはまだしも」2人の会話に休憩中の管制官が割り込みます。「その話、続きがいいですか? 現在この付近を通過している宅配バイクですが1人以外は無線でコンタクトできるようになっていきます。」「で、その1人は?」「無線”単体”を探しているようでした。先天性ナイトメア種は非ナイトメア種と同等の明視力を持ちながら強めの暗視力を持っています。後天性の場合暗視力は変異初期は無く変異の進行と共に成長するようです。」「じゃあ霧はどうなんだ」休憩中の管制官、まだいました。「後天性として成長する事で霧の中にあるものを見通す能力を得ようとしている可能性があります」「・・・交代の時間は?」「・・・ハッ!」機内に聞こえてませんように。

カートゥーンフード（お知らせアリ）

姿がよく見えませんが、誰かが落ちていたDVDをデツキに入れて、それを再生するようです。

動画は既に食品を映していました。「あの食べ物たしかCringle of the creekに出てきたよ」Cringle of the creekは登場した作品の本来の名前ではない事をここに記す、と副音声が入りました。「この食べ物、Together Breakfastに似てるけど母の代わりになんか乗ってる！」Together Breakfast似の食べ物はTic-Tacが作ってました。膨らませた風船を真上で割って中のラムネキャンデーをふりかけのようにはらまいたようです。「このいかにも辛そうなチョコロス、形が火に似てるけどこれもカートゥーンフード？」「元はcookingWITHFredに出ていたカートゥーンフードなんだ、けどこの形の方が好きだから」フォーターのナイフは袋以上のものを斬りそうなのでフォーターはバターのを空中で斬っているそうです。となると彼に必要なのは物を浮かせる魔法でしょうか。

次に動画が映したものは実写ドラマに登場したりといったカートゥーン外が出典の料理。これも描写にない箇所の調理は先駆者頼みといった所でしょうか。そんな中で綿飴は珍しく新規描写、綿飴マシンが壊れたので材料をファンネルの風で混ぜていました。曰く「ドリンクで濡らせば見た目バレないと思う」とのこと・・・本当にそうでしょうか。フリーズドライ好きな誰かさんのチャンネルに由来するフリーズドライした料理とドリンクもありました・・・が、一部不評のよう。

出典のない完全新作料理？それは多分難しいと思います。「作者が料理がオリジナルの物か判断できるだけの時間、あると思うか？」そう、そういう事です。ただ、ピクセルカフェのキットクルフィを誰も作らなかつたのは少々気がかりでした。

『暑中お見舞い申し上げます。現在・・・では、物語のお題を募集

しております。』というのも、元はと言えば作者自身の想像力が現実という圧力によって失われている気がするからです。ストロー君も現実に敏感だから理解してくれるはず・・・「たかが小説だからってああいうシリアスな話題を混ぜるのは良くないな。あれはオブジェクトショーを子供向けとした時に真っ先に規制されそうな内容だから・・・」その話、俺も同意する・・・現実というものは時に複雑です。現実で何かをする度にこの物語の続きを書くための想像力が失われていく、そんな気しかりないんです。